

荻野三つ沢の里山を守る会

—里山の豊かな自然を次世代へ—

厚木市上荻野の三つ沢地域の遊休農地を借り、米の栽培と棚田周辺の下草刈り等の環境整備を実施しています。厚木市の里山体験事業である里山マルチライブプランを2002年から開催し、公募の市民ボランティアと共に前記の活動を行っています。

この14年間の活動で棚田の生き物も復活し、公募の市民ボランティアや地域住民を対象にホタルの鑑賞会も開催しています。会員数は14人。発足は2002年。会員募集中です。

活動エリア



荻野地区の特徴

厚木市の北西部、丹沢山塊の麓に広がる標高100m前後の台地にあり、地域の中央を荻野川が流れ、その流域には入り組んだ谷戸を残すなど雄大な景観を誇る地域



荻野地区の特徴

この地域には、源氏河原という地名と源氏橋という橋があり、地名が示すとおり、鎌倉時代に源頼朝が幕府を開くべく考えた予定地でした。

多くの谷戸があることから要害堅固な地として選定されましたが、荻野村には99の谷戸があり、百谷戸には一つ足りなかったことから断念し、鎌倉に幕府を開いたといわれています。



活動内容

①水田の維持管理及び稲作体験

維持管理（草刈り、耕うん、代掻き、電気柵の管理）
稲作体験（田植え、草取り、稲刈り、はざ掛け、脱穀、収穫祭）

②水路・棚田の復元及び維持管理

里地里山再生事業（下草刈り、除間伐など）
自然との共生、ボランティア精神の醸成
（ホタルの鑑賞会の実施、体験学習の受け入れ）

稲作体験の様子

狭野三ツ沢の里山を守る会
里山マルチライフプラン事業
体験学習
里山の維持管理
棚田の維持管理

